

訪問看護ステーション  
AOI ケアリングステーション

感染拡大防止に向けた  
ステージごとの主な対応

## 広島コロナ対応

## 感染拡大防止に向けたステージごとの主な対応

広島県  
ステージ**ステージⅠ  
(感染散発)**

- 感染者が散発的に発生
- 医療提供体制に特段の支障がない。

**ステージⅡ(感染漸増)**

- クラスターが度々発生し、感染者がだんだんと増え、重症者が徐々に増加
- 保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大
- 一般医療も実施する中で、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある。

**ステージⅢ(感染急増)**

- ステージⅡに比べ、クラスターが広範に多発するなど、感染者が急増
- 新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制の負荷がさらに高まる。
- 一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要

**ステージⅣ(感染爆発)**

- 大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者や死亡者が発生し始める。
- 公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避けるための対応が必要

東広島市感染者数ステージ	1	2	3	4
10万人当たりの感染者数(直近一週間の平均)		4人	15人	25人
ス ス テ ー タ ー ツ シ フ ョ ン 利 用 者 者	基本予防・掃除・換気 体調チェック、マスク、手洗い、黙食、イベントへの不参加			
	ST内規制	グッズは定位置	グッズは定位置	開始 大3人、和室1人、事務所3人、2階各1人 グッズは玄関に(PPE持ち帰り可)
訪 問 時 対 応	基本対応 ①痰・便・尿:ピンク、フェイス、手袋、マスク ②発熱:ブルー、フェイス、手袋、マスク			
陽 性 者 が 居 る 場 合 に	保健所指示、2週間自宅待機 陽性者家族は入院又はホテル療養していただく 自宅療養指示の場合は保健所指示にてその期間自宅待機 ※家族に発熱(37, 5度以上)がある場合も出勤不可とする			
実 習 生 対 応	学校への要望 ①学生の体調チェック(前2週間) ②朝の発熱(37, 5度以上)で実習中止 ③イベント・コンパ等への不参加指導 ④ソーシャルディスタンス ⑤シャドーイング中心もあり ⑥黙食指導	※ステージ1, 2でも利用者同意がなければst内実習またはオンライン実習等への変更を検討する		広島県ステージⅢ以上で実習中止 実習期間中であっても中止する
来 客 対 応	訪問時の体温測定(37度以上で断る) 来客名簿記入(名前、日時、体温)	手指消毒、書類等受け取り ↓ 会話15分以内 ソーシャルディスタンス		訪問者お断り

大雨警報等の関する対応  
警報状況等の対応

広島  
県  
状  
況

想定される状況
大雨警報
台風接近
線状降水帯

<u>警戒レベル1</u>
早期注意情報
線状降水帯に注意し ておく

<u>警戒レベル2</u>
ハザードマップにて 事前に確認
自主避難
高潮注意報
大雨注意報
洪水注意報
氾濫注意報

<u>警戒レベル3</u>
高齢者等避難
危険な場所から高齢 者等は避難
大雨警報
洪水警報
警戒（警報級）
氾濫警戒警報

<u>警戒レベル4</u>
避難指示
土砂災害警戒警報
高潮警報
高潮特別警報
氾濫危険情報

警戒レベル	1	2	3	4
避難情報	災害への心構え	自分に合った避難 行動の確認	高齢者・障害の方 は避難準備	危険な場所から全 員避難
ス タ フ シ ョ ン 利 用 者 対 応	スタッフの基本姿勢：自身の命を優先に行動する！自身の住む場所のハザードマップ確認。			
	利用者の避難場 所・危険場所の 確認	関係機関と情報共有 避難方法確認		
医 療 ケ ア の 確 認	災害時に備えたセルフケアの確認		訪問調整し早めに帰 宅指示	ケアの中止速やか に避難・帰宅
実 習 生 対 応	各大学の基準に従う			
来 客 対 応	気象情報を早めに収集し予測し、来客 者対応を断る		来客者は断る	